

from

ほうかつ

令和7年11月発行

特集！

役場職員が認知症サポーターに！ ～ 認知症になっても安心して暮らせる柵葉町をめざして～

柵葉町の役場職員を対象に認知症サポーター養成講座を開催しました。認知症サポーター養成講座とは、認知症についての正しい知識と、認知症の人やその家族への接し方や対応について学び、認知症の人を温かく見守る応援者『認知症サポーター』を養成する講座のことです。今回は、寸劇を通し“町役場職員としてできることは何？”をみんなで考える内容で開催しました。寸劇のポイントや認知症サポーター養成講座を受講しての感想、サポーターとしてこれからどのように取り組みたいかなど素晴らしい意見をお聞きしましたのでご紹介します。



柵葉町役場



～ 事例 ～



ともみおばあさんは、88歳。これまで、医療や介護の保険証を紛失してしまい、何度も役場に来られています。今回は、年金や介護保険について心配事があり、頼りにしている役場に相談に行きました。

①こども課にて…

役場に行って最初に声をかけたのは、こども課でした。しかしながら、「年金のことは町民税務課へ行ってください。」とだけ言われました。



②町民税務課にて…



次に町民税務課に行きました。年金が入ったけれど、少ないことを相談すると「それは、介護保険料が天引きされているからです。」と説明を受けました。何のことかさっぱりわかりません。すると「介護保険のことは保健福祉課です。保健福祉課に行ってください。」と言われました。

③保健福祉課にて…

迷子になりながら、ようやく保健福祉課にたどり着きました。介護保険、天引き…専門用語がたくさんで意味が分かりません。相談するも、「説明書に書いてありますので読んでみてください。」と書類を渡されました。



ともみおばあさんは「役場に行けば安心」と思っていたが、思い通りに用事を済ませることができず不安が増すばかり。行政職員の皆さんはどう対応しますか？



一寸劇を通してのグループワーク

<行政職員としてどのように対応できるかを考えていただき、グループで意見交換を行いました。>

素晴らしい意見がたくさん

- 「おや、心配だな…」と気になる来庁者が来られた時には、相談窓口である柵葉町地域包括支援センターに連絡する。
- 相手の目線に合わせ、落ち着いてゆっくりお話ができる環境を作る。
- 笑顔で接し、安心感を与えられるような対応をする。
- ゆっくり、丁寧にわかりやすい言葉で説明する。
- 最初に対応した課が、来庁者のお話を最後まで聞いて担当課までご案内し、主訴を引き継ぐ対応が必要。
- 役場に来た目的を果たすことができ、安心してお帰りいただけるよう対応する。
- 来庁者の反応を確認しながら、その方に合った説明方法の見極めが大事。
- 来庁者に寄り添い、きめ細やかな対応をする。

講座の様子



グループワークの様子



認知症サポーター養成講座を受講しての感想

- 学んだことを活用し、認知症の方のみならず、来庁された町民の方々に優しく丁寧に接するよう心がけていきたい。
- 認知症の方への接し方について、より詳しく知りたいと思った。
- 身近に認知症の方がいるので、学ぶことができて良かった。これからは活かしていきたい。
- 自分自身の接遇を見直すきっかけになった。学びを活かして対応していきたい。
- 認知症が身近な問題であることを改めて認識した。困っている方がいたら、相談窓口の柵葉町地域包括支援センターについて周知したいと思う。
- 認知症サポーター養成講座をより多くの方に受講してほしいと思った。
- すぐに、どの部署につなぐかを考えるのではなく、相手の話をゆっくりじっくり聞いて自分のできることを考えたいと思った。



一柵葉町地域包括支援センターより一



町役場職員のみなさんの素晴らしい意見や感想を聞くことができ、安心して暮らせる町づくりに一歩一歩進んでいることを実感することができました。一人では難しくても、みんなで取り組めばやれることがたくさん見つかります。地域の特性に合わせ、地域に根差した活動を引き続き行っていきたいと思います。困り事や悩み事は一人で悩まず、柵葉町地域包括支援センターにぜひご相談ください。



ワンポイント講座



認知症サポーター養成講座を受講した方には、サポーターの証としてカードを配布しています。このカードにはオレンジ色のロバが登場しますが、こちらのロバは認知症に関する活動の象徴として『ロバ隊長』と呼ばれています。ロバのようによろしく、着実に一歩一歩進み、先頭を歩く存在として名づけられました。そして、このロバ隊長には認知症になっても安心して暮らせる町づくりという願いが込められています。皆さんもサポーターの一員となり、一緒に安心して暮らせる町づくりに取り組みましょう!!

高齢者・障がい者の総合相談窓口

TEL:0240-25-4155 FAX:0240-25-4156

〒979-0604 柵葉町大字北田字鐘突堂5-5 (柵葉町保健福祉会館3F)

Email: naraha-houkatsu@car.ocn.ne.jp

お気軽に
ご相談ください。



発見！～地域の支え合い場面～

こころが元気な秘訣は、たのしい会話から！？

とある地域の一場面

一人暮らしの檜葉ゆず子さん(87歳)は体調を崩し、しばらく入院生活を送っていました。退院後は、体力に自信を失い、意欲も低下して、自宅で過ごす時間が増え、外へ出る機会がだんだんと減ってしまいました。

元々、人とお話しすることが大好きなゆず子さんですが…入院を機に精神面の落ち込みが続いており、体のだるさや楽しむことへの関心が薄れ、自分から友人へ連絡する気持ちになかなか出来ません。

お大事に～

最近、ゆず子さんの姿
見てないわ。ちょっと、
お顔見に行かない？

※自ら声を上げられな
いゆず子さんにとって、
お友だちからの行動は
とても貴重です。

入院し、退院したあとも
元気がないゆず子さん

ご近所のお友だち

次は、ミニデイにも
一緒に行きま
しょうよ♪

こうやって、みんなと
顔を合わせて話すのは
楽しいわね～！なんだ
か元気が出てきたわ

現在は…

ご近所のお茶のみ仲間Aさん、Bさんのお誘いもあり、近くの地域ミニデイの場にも参加するようになりました。少しずつではありますが、ご本人のペースで地域の場にも顔を出すことが増えてきました。ゆずさんは「**やっぱり、人と話すのはいいな。」「元気が出る。」「楽しいな。」**と笑顔で話しています。

実は公的な介護サービスを使うことだけが介護予防ではありません！何気ない、日常のひと時(例えば大切な家族や友人との楽しい会話等)が心の安定、気持ちや意欲の向上、生活の質の向上につながるポイントの一つでもあります♪心が元気であることが一番の介護予防なのかもしれません。

自分が好きなことをする時間、大切な人と過ごす時間を大切にして、元気に、自分らしい生活を送りたいですね！

檜葉町地域包括ケアシステム

まじわる つながる 支え合う！

檜葉町地域包括ケアシステムに関わる多様な関係機関をリレー方式で紹介するコーナーです。
檜葉町食生活改善推進員会からマミーすいとん研究会にバトンが繋がりました。

第16走者



マミーすいとん研究会
のみなさん

マミーすいとん研究会とは

～マミーすいとんが誕生するまでの歴史～

“すいとん”は檜葉町の郷土料理であり、古くから食べられていた伝統料理です。“すいとん創作料理コンテスト”でグランプリに輝いた檜葉町の味を伝承していきたい、と集った有志でつくる「すいとん研究会」が、広報や商品の販売活動をすすめてきました。そして、「ヴィレッジで合宿を行っていた当時のサッカー日本代表監督であるフィリップ・トルシエ氏が檜葉町のすいとんを食べ、「故郷のマミー(おばあちゃん)の味」と評したことから『マミーすいとん』と名付けられました。これ以降、マミーすいとん研究会の活動によって、『マミーすいとん』が檜葉町や他県にも知られるようになりました。現在、マミーすいとんは「ヴィレッジ」や檜葉町内のレストラン、道の駅等で食べることができます。また、土産物としてすいとん粉とつゆをセットにした「mammyすいとん」の販売が行われ、檜葉町の特産品として、全国的に知られるようになりました。

具材は…



にんじん、干しいたけ、ごぼう、長ネギ、鶏肉

～地域とのつながり～

現在、マミーすいとん研究会は6名のメンバーで、地域イベントでのすいとんのふるまい活動や、まごらっせ等で地域の方向けにマミーすいとんの作り方を伝授する講座を行い、味の伝承活動を続けています。

また、文化庁の取り組みである「100年フード」(国内の多様な食文化の継承・振興を醸成するため、世代を超えて受け継がれ、長く地域で愛されてきたものを「100年フード」と名付け、地方自治体、団体等とともに継承していく取り組み)にマミーすいとんは認定されています。

～これからの想い～

引き継がれてきた『マミーすいとん』の味を継承し、これからもよりたくさんの方に檜葉町のおいしいマミーすいとんの味(元祖の味)を知ってもらいたいです！



鶏肉とごぼうの
出汁にしょうゆ
ベースの味付け

～みんなのつぶやき～ テーマ「心がホッとする瞬間は？」



センター長 江尻

ほっとするひととき…。
考えても思いつかず…。ほっとする感覚を持
ち合わせていないことに気づく今日この頃。



生活支援コーディネーター
小林

急に寒くなってきました。
あったか～いほうじ茶、とうもろこし
茶がホッとできる最近のマイブーム
です。



社会福祉士 岡崎

心がホッとする瞬間は洗い立てのシーツ
に寝転がる瞬間です！
ホカホカいい匂いでリラックスします♪



看護師 馬場

「車のガソリン満タン！」この時はホッと
します。“どこまでも行けちゃう”気がして元
気もやる気も出ます。私の胃が満タンにな
ると寝ちゃいます。